

刃魔闘譚録

忍術バトルRPG
シノビガミ
シナリ才集



道が別たれたのはいつからか。

妖魔から人々を守るために。英雄と担ぎ上げられたがゆえに。振り返ることは許されなかった。

道が別たれたのは挫折の果て。

人のままで敵わぬのならば。人を捨ててでも叶えねばならぬ。我が望みはただ×××××のみ。

救国の修羅と逆心の悪鬼。不俱戴天の敵なれば。相對するは必定なり。

——いざ、尋常に。

シノビガミ戦国退魔編「不俱戴天」



不倶 戴天

シナリオタイプ 対立型
プレイヤー人数 二
リミット 一

■シナリオスペック

レギュレーションシヨン…戦国退魔編

タイプ…対立型

リミット…1

プレイヤー…2

シーン表…戦国シーン表

階級…自由(中忍頭推奨)

特記①…P.L①とP.L②は子どもの頃からの知り合いという設定です。兄

弟姉妹・幼馴染・兄弟弟子などのフレージャーをプレイヤー間の相談の上で決めるとよいでしょう。

特記②…時代観は戦国〜江戸期です。妖魔のはびこる世界で人々はおびえ

ながら日々を生きています。

特記③…背景の修得は「長所」「弱点」共に功績点2点までのものを一つずつです。

特記④…クライマックスフェイズの勝者は生殺与奪の権を得ます。

■シナリオ舞台

戦国時代の仮想日本を想定しています。人々は妖魔がはびこる世界に生きており、一部の人間を除いては無力な存在です。シナリオの場面では小さな集落が妖魔に襲われているところから始まります。

■シナリオ背景

ＦＣ①とＦＣ②は、昔からよく見知った人物です。どのような間柄だったのかはセッション前にプレイヤー同士で相談することになります。

彼らはのちに「妖魔狩り」となります。妖魔狩りとは、ずば抜けた戦闘力で妖魔を狩る人間のことで、妖魔狩り同士は連携して民草を護っています。ＦＣたちのどちらが妖魔狩りとなることを言い出したかは分かりませんが、ＦＣ①は昔ＦＣ②との出来事（ＦＣ①のプレイヤーが考えます）があったため、妖魔狩りとなって戦い続けようと心に誓っています。

己の幸せは家族と共にあった。

四人兄弟の長子として家族を助け。

ささやかな幸せを分かち合い日々を過ごす。

それこそが己の生きる道だと信じていた。

——変わり果てた家族の姿を見るまでは。

シノビガミ現代退魔編「残酷」

残酷

ツクリオタクニア
アロイヤル人数一
のミッド五
特殊型



■シナリオスペック

レギエレーション…現代退魔編

タイプ…特殊(シロ)型

リミット…5

プレイヤー…1

シーン表…雪山シーン表

階級…一般人

特記①…時代観は明治〜大正期です。妖魔のはびこる世界で人々はおびえ

ながら日々を生きています。

特記②…P/L①は一般人のルールに従って作成しますが、事前に【真実】の

内容をシナリオで指定しています。

特記③…P/Lの兄弟(四兄弟)や母の設定を事前にGMとプレイヤーで相談

すると良いでしょう。

特記④…クライマックスフェイズの戦果で、通常の戦果を選ぶ代わりに、

他の人に自分の【秘密】を公開させることができます。

■シナリオ舞台

現代編ですが、舞台は明治から大正のイメージです。この世界には絶対的な強者、理外の力を持つ人類の天敵——妖魔が存在します。まつろわぬものとも呼ばれるそれらは人知れず暴虐の限りを尽くしており、人々は激動の時代を様々な不安を抱えながら過ごしています。

PL①は発展が目覚ましい都市部からは遠く離れた地方の寒村に住む一般人です。季節は冬で、近頃は良く雪が舞っています。

■シナリオ背景

この時代には人間のような社会性を持ち、人間の世界に溶け込みながら善を成す人間を見ると戯れに殺す、あるいは同じ妖魔に墮とす最悪の獣——『窮奇』^{キョウキ}と言う妖魔が存在しました。彼は人に擬態していますが、本性は翼の生えた虎です。その翼手は虎のような黄色と黒い縞模様をしており、

国^ク栖^ズ峠。地方と中央を最短で結ぶと言われる峠は、通る者が少ない道であった。国栖峠には妖魔が棲み付き、巡り合わせが悪ければ生きて戻れぬと噂されているからだ。

この行路が放棄されることによって受ける経済損失は新たな時代にとって見過ごせるモノではない——そう憂いた妖魔狩りの中枢は国栖峠の攻略を号令する。総勢十数名の妖魔狩りが集結し、国栖峠掃討作戦が展開されることになった。

刃と魔と、果たしてどちらが狩られる側か。

シノビガミ現代退魔編「猟刃狩魔」

獵 刃 狩 魔



シナリオタイプ：協力型 プレイヤー人数：三 リミット：三

■シナリオスペック

レギュレーション・シヨン…現代退魔編

タイプ…協力型

リミット…ヨ

プレイヤー…ヨ

シーン表…国栖峠シーン表

階級…中忍

特記①…時代観は明治〜大正期です。妖魔のはびこる世界で人々はおびえ

ながら日々を生きています。

■シナリオ舞台

現代編ですが、舞台は明治から大正のイメージです。この世界には絶対的な強者、理外の力を持つ人類の天敵——妖魔が存在します。まつろわぬものとも呼ばれるそれらは人知れず暴虐の限りを尽くしており、人々は激動の時代を様々な不安を抱えながら過ごしています。

シナリオの舞台となる場所は行路が放棄された峠です。山の中での戦いがメインとなります。

■シナリオ背景

妖魔「アラキヌ」は生まれた当初、弱い妖魔でした。持ち前の色香で強者に取り入ることで日々を生き延び流浪する間、アラキヌは自分だけの根城、そして損得関係なしに自分を守ってくれる関係、「絆」を夢見ます。そして長く生き残ることで次第に妖魔としての格を備えたアラキヌは、自分と同じような境遇の妖魔を集め、空白地帯であった国栖峠に巢を張りましました。そして集めた妖魔に力を分け与え、自然に自分を守るように仕向けます。こうして結ばれた絆はうまく機能し、アラキヌは夢見た環境を作り上げました。

一方、妖魔に狩られる側であった人間の抵抗勢力「妖魔狩り」は文明開化を時機と見て、その勢力を増そうとしています。彼らの最終的な目標は妖